

ささやま

第114号

平成28年5月20日発行

6



CONTENTS

P2-3 特集

熊本地震 支援の輪 広げよう

P4-5 篠山市社会福祉協議会事業計画

P6 NEWS福祉

地域包括支援センターの新体制と
役割について

情報ボックス

P7 ボラナビ

権利擁護支援者養成講座

心配ごと相談日

篠山市の福祉指標

P8 篠山市ファミリーサポートセンター

善意銀行だより

篠山市社会福祉協議会では、4月14日(木)に発生した熊本地震により、被災された方々を支援することを目的に、義援金の募集を行っています。

5月3日(火)には、ザ・ビッグ篠山店前において、篠山鳳鳴高校のインターアクト部18名と街頭募金を行いました。

熊本地震 未曾有の 震度7が2回 支援の輪 広げよう



■未曾有の大震災 発生

熊本地方で4月14日の夜にマグニチュード6.5、最大震度7の前震が発生し、26日の未明にはマグニチュード7.3、最大震度7の本震が熊本地方を襲い、死者49名、行方不明者11名、避難者2万5932人、全壊・半壊・一部損壊した住宅は、3万9253棟にのぼる甚大な被害がでています。

もともと、熊本地方は比較的地震が少ないとの評価で、大企業の拠点工場が誘致されていました。

しかし、今回の熊本地震では、本震の最大加速度が1580ガルで、阪神大震災の2倍の強さとされています。震源が地下12キロメートルと浅かったため、被災された方々は、飛び跳ねるような衝撃で、身動きができなかったようです。

■社協は 全国ネット支援

今回の地震は、観測史上始めて震度7が2回発生する想定外の地震でした。1400回を超える余震の発生により被害が拡大しています。このような未曾有の大災害に、社会福祉協議会では、全国ネットワークを駆使して、地震の発生直後から、被災地への支援活動を展開しています。兵庫県社協においては、要請に応じて熊本県西原村に、4月27日から支援活動を展開して

おり、篠山市社協では県社協からの要請に応じて、第3次（5月5日～10日）に2名、第4次（5月9日～14日）に1名の職員を、それぞれ派遣をしました。



支援活動に参加した篠山市社協職員
(左から小林、荻野、酒井)

■西原村

震度7の大地震

西原村は、人口7070人、2530世帯の小規模な自治体であります。今回の想定を超える大地震によって家屋の54%が倒壊・全壊・半壊になっており、10箇所の避難所には、約1600人が避難されています。余震が活発であり、家屋の倒壊の危険性があるため、片付けることもできない状態です。また、水道の

復旧も大幅に遅れており、避難生活は長期化する見通しです。

■拡がる支援の輪

地震の発生直後から支援に駆けつけた篠山市民の方々も多くおられます。また、ゴールデンウィークには、全国から多くのボランティアの皆さんが、駆け付けました。被災されている皆さんには、大きな支えになっています。

遠い被災地には行けないけれど、少しでも役に立ちたいと、募金活動に参加した生徒や市民の皆さんの活動も、大きな支援の輪として広がっています。



西原村災害ボランティアセンターのようす

篠山市災害支援ボランティアグループきすな 熊本県西原村で汗流す



支援活動に参加した「きすな」のメンバー

東日本大震災復興支援市民ボランティアに参加したメンバーで、結成している災害支援ボランティアグループきすな（会長＝澤良兼）を中心に、5月5日、深夜に篠山を出発して、6日と7日の2日にわたり、熊本県西原村で支援活動を行いました。

1日目は、あいにくの雨となり、ボランティアの受け入れは中止となりましたが、災害ボランティアセンターの資材班の作業を手伝いました。



災害ボランティアセンター資材班の作業を手伝う

資材や救済物資は、全国からの応援もあり整っていますが、余震や雨風で被災された家屋の修繕は、ボランティアでは危険なため、作業ができない状態です。
2日目は、曇り空となり、ボランティアの受け入れがあり、私たちは、農業ボランティアに割り振られ、さつま芋の定植を行いました。



農業ボランティアとしてさつま芋定植をする

地震によって10日以上も作業が遅れおり、50アールの農場3か所を経営するご夫婦は、途方に暮れていたところ、「ボランティアの皆さんに来ていただき、本当に助かっています。」「2人だと喧嘩が絶えなかったですが・・・作業が進んでうれしいです。」と本音を漏らされました。私たちは、日ごろの慣れた農作業に2日分の汗を流し、「少しでも復旧・復興に役立てた」思いを胸に、7日の深夜、西原村をあとに、帰路につきました。

■義援金 募金活動活発に

小・中学校や高校、市民グループでは、熊本地震で被災された方々を応援するため、積極的に義援金の募金活動に取り組まれています。

5月3日には、篠山鳳鳴高校インターアクト部の18名が、ザ・ビッグ篠山店で街頭募金活動に取り組み、地震の規模が大きく被害が甚大であったことから、市民の関心も高く、午前中の活動にもかかわらず、多くの募金が寄せられました。



ザ・ビッグ篠山店前で募金活動を行った篠山鳳鳴高校インターアクト部

ただいた諸団体は、次のとおりです。▼城南愛育班（代表 Ⅱ広瀬みゆき様）1173円
▼大山地区有志（代表 Ⅱ渡辺拓道様）2854円▼篠山よさこいまつり2016（代表 Ⅱ上羽裕樹様）1万1580円▼「人権つどい」街頭募金3万4721円▼不動クラブ（会長 Ⅱ佐野吉男様）2万円▼篠山鳳鳴高校街頭募金5万8861円▼篠山市仏教会篠山支部（代表 Ⅱ谷垣正道様）10万円▼篠山市民生委員児童委員協議会2万5700円▼4月末までの設置募金箱1万9154円。お寄せいただいた募金は、27万4043円となり、熊本県共同募金会を通じて、被災された皆さんに、義援金としてお届けします。

一人ひとりの力は小さいけれど支え合うことで、熊本地震で被災されました皆さんの一日も早い復旧・復興を心から願っています。

みんなで熊本への支援の輪を拡げていきましょう。

平成 28 年度 篠山市社会福祉協議会 事業計画

「つながりと支えあいで作る みんなのしあわせ」

去る 3 月 23 日、第 36 回評議員会を開催し、平成 28 年度、事業計画及び予算が、原案どおり可決されました。
本年度は、改正介護保険法に伴う新しい総合事業への取り組みが、各自治体において順次進められており、篠山市では、「住民主体」の生活支援サービスを介護保険制度に位置付け、拡充を図るものとして、「見守り支援活動」や「ふれあい・いきいきサロン活動」「住民参加型在宅福祉サービス」などの活動やサービスの推進が、いっそう期待されています。

併せて、社会福祉改正による組織運営の見直しや、社会福祉法人・福祉施設との協働による公益的な取り組みの責務など、社会福祉法人としての運営のあり方について、早急な検討と対応が求められています。

重点活動項目

1 「地域住民が支えあい 助けあうまちづくり」

- ・安全で安心して暮らせる地域を目指し、住民相互のつながりを強化するための地域福祉活動を推進します。
- ・地域内での困りごとを発見し、解決していくため、話し合いや交流の場づくり、助け合い意識の向上に努め、住民が主体的に取り組める地域福祉活動の展開を目指した支援を行います。
- ・地域福祉活動に取り組む個人や団体を支援・協力し、地域における福祉課題の解決に取り組みます。
- ・住民が参加しやすい地域活動にするため、情報発信や研修会を開催します。

取組事業

集落等福祉活動事業、福祉委員活動事業、地区福祉会議、福祉教育推進事業、ボランティア活動の推進と講座開催、介護支援ボランティアポイント制度事業

2 「つながりを深めて 個人を支えるしくみづくり」

- ・住み慣れた地域で、自分らしく、元気に暮らしていくために、困りごとを抱えた個人を支えるしくみをつくります。
- ・地域と連携して近隣の見守り活動を進め、困りごとを抱えた世帯の早期発見と、解決に向けた支援を関係機関と連携し行います。
- ・個人が抱える課題の複雑化や多様化により、現行の制度で対応できない新たな支援方法や、サービスの開発に努めます。

取組事業

東部・西部地域包括支援センターの運営、生活支援サービス構築事業、日常生活自立支援事業、ファミリーサポートセンター事業、給食サービス事業、配食サービス事業、外出支援サービス事業、生活福祉資金貸付事業、緊急貸付資金事業、居宅介護支援事業、訪問介護事業、居宅介護事業、障害者相談支援事業

3 「地域と個人を支える法人組織の強化」

- ・災害発生時に迅速な対応が行えるよう、定期的に防災訓練を実施するとともに、市と災害協定を締結し、相互が連携・協力できる体制を構築します。
- ・評議員会、理事会において、活発な意見交換が行える環境整備を行います。
- ・事業を運営するうえでの、効率的かつ有効な事務局体制の整備を図ります。
- ・地域に密着した支援活動が行えるように、研修会を通じて職員の資質向上を図ります。

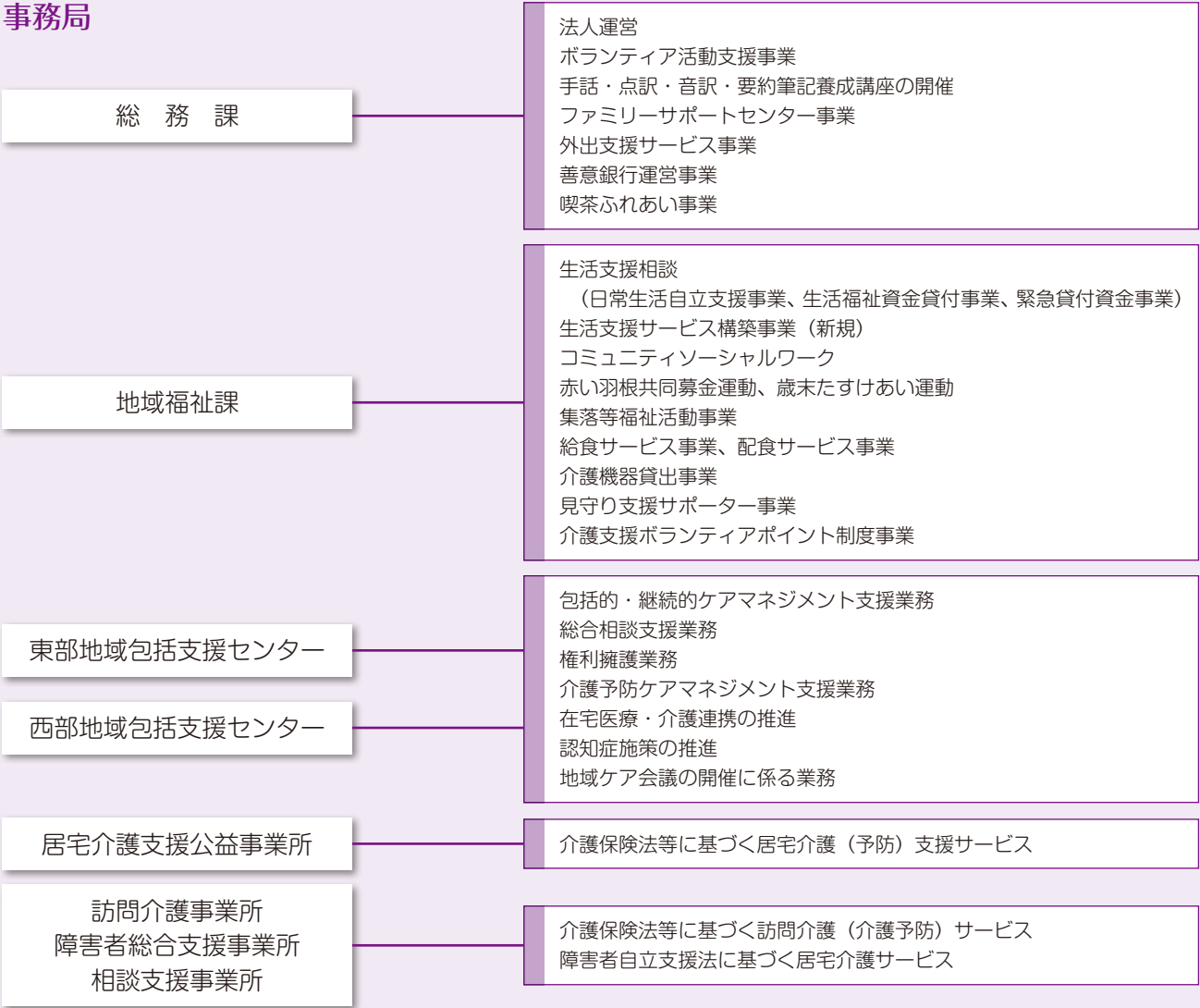
取組事業	災害時の地域支援、法人組織体制の充実・強化
新規事業	篠山市社会福祉法人連絡協議会の取り組み

社協 組織体制

役 員

会 長（1名） 評議員（39名）	副会長（3名） 監 事（3名）	理 事（15名）※会長・副会長を含む
---------------------	--------------------	--------------------

事務局



地域包括支援センターの紹介と役割について

新年度を迎え、新しい職員の加入や異動があり、気持ち新たに、1年間取り組んでいきます。よろしく願います。

地域包括支援センターは、高齢者や家族をいろいろな面から支える公共機関です。社会福祉士、主任介護支援専門員、保健師の専門職が一つのチームとして、互いに専



東部・西部包括支援センター新職員



などに対応します。また、制度の紹介など、適切なサービスにつなげます。

②みなさんの権利を守ります

成年後見制度の活用についての相談や、高齢者虐待の防止や早期発見、悪徳商法の被害防止など、毎日を安心して暮らせるよう、情報提供や相談に対応します。

③自立した生活の支援

健康に不安のある高齢者が今までもの生活が続けられるよう、心身の状態に合わせた介護予防のお手伝いをお願いします。また、要支援1・2と認定された人への介護予防サービスの相談や、計画を作成します。

④さまざまな機関とのネットワークづくり

高齢者が住みなれた地域で安心して生活ができるよう、地域のさまざまな機関と情報共有を行いながら、ネット

ワークづくりを行います。

⑤認知症になっても安心して暮らせる街づくり

認知症になっても、安心して暮らせる街づくりを目指し、関係機関との連携、支援及びネットワーク作りを行っていきます。

⑥医療と介護の連携の推進

高齢者の安心を支えるため医療は欠かすことができません。退院した後も、住み慣れた地域で暮らし続けるため、病院など医療と介護の連携体制づくりを推進します。

⑦地域ケア会議の開催

地域住民・専門職が、地域住民の課題をともに考え、地域のネットワークを構築し、地域課題の把握になるよう、働きかけを行います。

地域包括支援センター 3職種の役割

①社会福祉士は権利擁護関係の業務を担っています。高齢者が尊厳ある生活を送ることができるよう、虐待の早期発見や防止、成年後見制度の活

用を助めています。

②主任介護支援専門員は、介護支援専門員の個別支援・相談支援に関わります。介護支援専門員の資質の向上や、精神面でもサポートします。また、介護支援専門員同士で、悩みを語り合う場として、「けあまネット」を月1回開催します。

③保健師は、健康や介護予防に関わる相談や訪問、電話で生活の様子や健康状態の確認を行います。また、自治会等のサロンや老人クラブに出向き、健康や介護予防の普及啓発に取り組みます。

3職種は個々で動くのではなく、常に連携をとり、センター内だけでなく、市や関係機関、民生委員・児童委員、自治会長や近隣者など、地域とつながりながら、より良い支援ができるよう努めています。ご自身のことや、近隣の高齢者のことなど、お気軽に相談ください。

手話奉仕員養成講座（入門課程・昼間）

手話を使って安心して暮らせる地域社会を目指し、耳の不自由な人を理解し、日常会話程度の手話表現技術を学ぶ、手話奉仕員養成講座を開催します。

あなたも「手話」を学んで、耳の不自由な人とのコミュニケーションを図ってみませんか・・・

今回、初めて昼間に講座を開催します。

多くの方の参加をお待ちしています！



と き 7月5日～12月6日 毎週火曜日

(全20回) (8/2、16、11/1を除く)

午前9時30分～11時30分

と ころ 篠山市立丹南健康福祉センター

講 師 実技：丹波ろうあ協会 徳田 真紀 氏

講義：兵庫県聴覚障害者協会 講師

対 象 者 初めて手話を学ぶ方、手話に関心がある方
(既に、入門講座を受けた方は除く)

募集人数 30名（申込順）

受講料 無料（テキスト代3,240円は自己負担）

申込締切 6月17日（金）

〈申込み・問い合わせ先〉

篠山市社会福祉協議会 総務課

担当 松本 ますみ ☎ 590-1112

傾聴ボランティア養成講座

孤立しがちな人たちの悩みや不安に耳を傾け、心に寄り添う傾聴ボランティア養成講座を開催します。

相手の心を尊重し、受けとめ、理解する技術を学び、地域や施設でボランティア活動や、日々の生活に生かしてみませんか・・・

退職後を充実させたい、何か人に喜ばれるボランティアをしてみたいなど、今後、傾聴ボランティアとして活動して下さる方を募集します。

と き 講 義：6月30日（木）、

(全4回) 7月 6日（水）、29日（金）

午後1時30分～4時

施設体験：7月 7日（木）～28日（木）

この間の1日2時間程度

と ころ 講 義：篠山市立丹南健康福祉センター

施設体験：市内の高齢者施設

講 師 兵庫県対人援助研究所 主宰 稲松 真人 氏

募集人数 25名（申込順）

受講料 500円（ボランティア保険代）

申込締切 6月17日（金）

〈申込み・問い合わせ先〉

篠山市社会福祉協議会 総務課

担当 松本 ますみ ☎ 590-1112

権利擁護支援者養成講座

認知症や知的障がい、精神障がいなど、判断能力に不安があっても、住み慣れた地域で、自分らしく、安心して暮らせるように、「福祉サービス利用支援事業」や「成年後見人制度」があります。この講座は、権利擁護支援の基本となる理念や、制度について理解を深め、日頃からの見守りや支え合い、さらには福祉サービス利用支援事業や成年後業務の支援員を養成します。

と き 7月11日（月）、20日（水）、28日（木）

(全5回) 8月 1日（月）、18日（木）

午後1時30分～午後3時30分

と ころ 篠山市立丹南健康福祉センター

募集人数 30名

〈申込み・問い合わせ先〉

篠山市社会福祉協議会 地域福祉課

担当 小林 健太郎 ☎ 590-1112

心配ごと相談日

下記のとおり相談日を設けています。
お気軽にご相談ください。

と き	と ころ
6月 2日(木)	13:30～16:00 西 紀 支 所
6月 3日(金)	9:00～11:30 丹南健康福祉センター
6月10日(金)	9:00～11:30 篠 山 市 民 セ ン タ ー
6月17日(金)	9:00～11:30 丹南健康福祉センター
6月24日(金)	9:00～11:30 篠 山 市 民 セ ン タ ー
7月 1日(金)	9:00～11:30 丹南健康福祉センター
7月 6日(水)	13:30～16:00 今田まちづくりセンター
7月 8日(金)	9:00～11:30 篠 山 市 民 セ ン タ ー
7月15日(金)	9:00～11:30 丹南健康福祉センター
7月22日(金)	9:00～11:30 篠 山 市 民 セ ン タ ー
7月29日(金)	9:00～11:30 丹南健康福祉センター

篠山市の福祉指標

(平成28年4月末現在)

地区	人口	65歳以上 人口(人)	高齢化率	増減	14歳以下 人口(人)	年少率	増減
篠 山	12,500人	4,038人	32.3%	↑	1,418人	11.3%	➡
城 東	3,319人	1,313人	39.6%	↑	272人	8.2%	↑
多 紀	3,270人	1,455人	44.5%	↑	281人	8.6%	↓
西 紀	4,144人	1,329人	32.1%	↑	517人	12.5%	➡
丹 南	15,903人	4,369人	27.5%	↑	2,167人	13.6%	➡
今 田	3,605人	1,190人	33.0%	↑	368人	10.2%	↑
計	42,741人	13,694人	32.0%	↑	5,023人	11.8%	↑

善意銀行だより

3、4月分

(敬称略)

金銭預託

松本美千代 (3、4) (井ノ上)	善意の預託… 6,000円
藤木千皓 (小中)	善意の預託…40,000円
井関道夫 (曾地奥)	善意の預託…20,000円
上田和夫 (南矢代)	善意の預託…10,000円
県立篠山産業高等学校丹南校PTA	善意の預託…26,982円
兵庫県立篠山産業高等学校丹南校	善意の預託… 1,403円
輝楽	善意の預託… 3,000円
丹波OB大学同窓会	善意の預託…18,300円
匿名	善意の預託…30,000円

指定預託

UT-11ボランティア学部有志	
九州災害派遣費用…	26,175円

物品預託

芦田富基子 (3、4月) (今田町芦原新田)	
鉢植えの花18鉢…今田地区ひとり暮らし高齢者	
飯田成代 (3、4月) (垣屋)	折り紙細工…給食サービス
西澤昭美 (3、4月) (栗柄)	折り紙細工…給食サービス
小山玲子 (3、4月) (大沢新)	折り紙細工…給食サービス
田中光子 (3、4月) (川北新田)	折り紙細工…給食サービス
山本恒喜 (波賀野新田)	大根50本…給食サービス
田中和代 (糯ヶ坪)	紙おむつ12パック…高齢者福祉施設
大山小学校児童会	車いす1台…介護機器貸出事業
西紀小学校児童会	車いす2台…介護機器貸出事業
匿名	玄米110kg…給食サービス
匿名	タオル38枚、石鹸49個…障がい者福祉施設
匿名	

パソコン、プロジェクター…点訳ボランティアサークル、他

は
の
花
ひ
ら
く
、
希
望
と
な
っ
た
の
で
は
・
・
・

サッカークラブのイングリッド・プレ
ミアリーグで、岡崎慎司選手が所
属するレスターが、初優勝を飾り
ました▼FWというゴールを狙う
ポジションでありながら、守備に
も加わり、ピッチを縦横に走り抜け
「他の選手のプレーを助けてくれ
る」とエル監督のコメント▼華
やかさだけに目がいきそうですが、
岡崎選手の一生懸命なスタイルは、
コッコツと努力している多くの人
の花ひらく、希望となったので

あとがき

篠山市ファミリーサポートセンター

第2回 交流会

親子ヨガでリラックスVOL.I

ヨガは、大人だけのものではありません。子どもと行う
ヨガ。子どもと一緒にヨガを楽しみ、日々の疲れを癒
しませんか・・・

保育園に20年勤務された林先生。約3000組のママと子
どもに会われたそうです。ヨガの合間に、子育て相談も
OK。身体も心も癒されますよ。

と き：6月16日(木) 午前10時～11時

と ころ：四季の森生涯学習センター東館 大会議室

講 師：林 真咲 氏

日本ママ協会認定 ママとベビーのヨガ講師、
親子ヨガ～インファントパーク～主宰

定 員：15組(親子向けの内容です)

持 ち 物：ヨガマット(あれば)、バスタオル1枚、
汗拭きタオル、お茶

申込締切：6月9日(木)



第1回 フォローアップ講習会

子どもを見守る ～保護者を理解するには～

「子育て支援は、人間関係づくりです」、「支援者は、先生
でも指導者でもありません」と言われる小泉さん。『保護者の
気持ちに寄り添う支援を行うには』をテーマに開催します。

と き：6月30日(木)

午前10時～11時30分

と ころ：四季の森生涯学習センター東館 第1会議室

講 師：小泉 雅子 氏

特定非営利活動法人 保育ネットワーク・ミルク理事長、
小規模保育施設 ミルクタンポポ園長

託 児：あり(5名まで要予約・会員優先)

申込締切：6月23日(木)

※この講習会は、2回シリーズです。次回は、
11月に開催します

※子育て支援者向けの内容です



子ども一時預かり“かんがるー”



●6月21日(火)、7月21日(木)

午前10時～12時

四季の森生涯学習センター東館 和室(2F)

●6月 2日(木) 午前10時～12時

今田まちづくりセンター 和室(1F)

●7月 5日(火) 午前10時～12時

城東公民館 和室(1F)

定 員：10名(生後6か月～就学前のお子さん)

利 用 料：子ども1人につき 1回500円

申込締切：各実施日の1週間前までにお申し込みください

利用には申し込みが必要です

会員以外の方も利用できます

定員になり次第、締め切らせていただきます

《申込み・問い合わせ先》

篠山市ファミリーサポートセンター

担当 林 直美 ☎590-1388